

# 平成 21 年度

# 伊賀市の家計簿

平成21年4月1日から平成22年3月31日までの各会計予算の執行状況と、財産と負債の状況をお知らせします。

なお、各会計の収入済額および支出済額の中には、平成22年4月1日から5月31日までの出納整理期間における収入・支出の額は含まれていません。

我が国の経済情勢は、「雇用の悪化」と「デフレ」が景気回復の重しとなっており、本年度も引き続き厳しい状況が続くと見込まれております。本市におきましても、市税収入の落ち込みによる財源の不足や、公債費や扶助費などの経常的経費が依然として高い割合を占めていることなどにより、厳しい財政運営が続くと予想されます。このような状況の中、市駅前再開発や市庁舎建設などの大型事業を推進してまいります。行政財政改革による財政の健全化とプライマリーバランス（基礎的財政収支）の黒字化を図りながら取り組んでいきたいと考えています。

ここにお知らせする平成22年3月末現在の収支状況では、市税などの歳入が予算額を上回ることが予想され、歳出についても各経費で支出が抑えられることにより、繰越金が出ると見込まれますが、詳細な決算の状況につきましては、11月にお知らせいたします。

平成22年5月

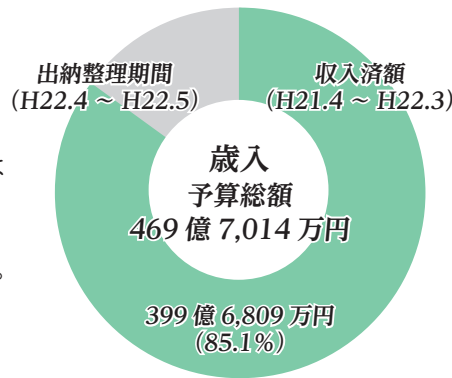
伊賀市長 内保博仁

## ■歳入の状況

歳入では予算総額 469 億 7,014 万円に対し、収入済額は 399 億 6,809 万円となり、予算総額に占める割合は、85.1%となっています。

このうち、市の予算を支える市税の収入は 140 億 2,902 万円で、収入済額に占める割合は、35.1%となっており、市税の予算額に対しては、100.2%の収入となっています。

一方、市が借金するお金である市債の収入済額は、15 億 5,010 万円であり、市債の予算額に対し 29.7%の収入となっています。これは、5月に借りの金額が多いためです。

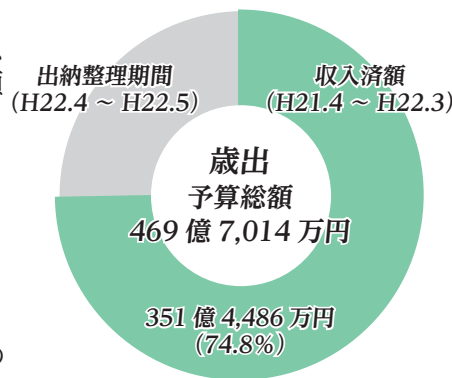


## ■歳出の状況

歳出では予算総額 469 億 7,014 万円に対し、支出済額 351 億 4,486 万円となり、予算総額に占める割合は 74.8%となっています。

このうち、児童・障がい者・高齢者福祉などの経費である民生費の支出済額は 101 億 4,616 万円で、支出済額に占める割合は 28.9%となっており、民生費の予算額に対しては 86.2%の支出となっています。

また、市の借金を返済する経費である公債費の支出済額は 65 億 3,785 万円であり、公債費の予算額に対し、約 99.9%の支出となっています。



## ■市税の状況

市民の皆さんに納めていただいた税金のうち、固定資産税がもっとも多く収入済額は 77 億 5,538 万円で、市税の収入済額に対し 55.3%を占めています。また、市民税の収入済額は 54 億 6,371 万円で、市税収入済額に対して 38.9%となっています。



区分	予算額	収納額	収入割合 (%)
市民税	54 億 7,773 万円	54 億 6,371 万円	99.7%
固定資産税	76 億 7,531 万円	77 億 5,538 万円	101.0%
軽自動車税	2 億 1,703 万円	2 億 1,897 万円	100.9%
市たばこ税	5 億 6,964 万円	5 億 2,779 万円	92.7%
鋳産税	9 万円	10 万円	111.5%
都市計画税	29 万円	29 万円	101.5%
入湯税	5,984 万円	6,278 万円	104.9%
計	139 億 9,993 万円	140 億 2,902 万円	100.2%

## ■特別会計・財産区特別会計 歳入歳出の状況

市には、平成21年度において、国民健康保険事業など12の特別会計と2つの財産区特別会計があります。それぞれの収入・支出の状況は下の表のとおりです。

特別会計全体の収入済額は202億1,714万円で、予算額に対し79.0%となっています。支出済額は202億9,682万円で、予算額に対し79.3%となっています。

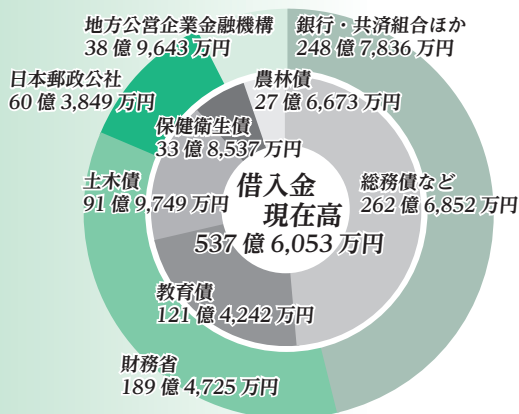


	会計名	予算額 A	歳入		歳出	
			収入済額 B	B/A%	支出済額 C	C/A%
特別会計	国民健康保険事業	103億 346万円	90億 4,490万円	87.8%	87億 4,032万円	84.8%
	簡易水道事業	15億 7,319万円	4億 9,125万円	31.2%	5億 4,758万円	34.8%
	住宅新築資金等貸付	1億 8,034万円	6,966万円	38.6%	1億 7,984万円	99.7%
	駐車場事業	5,600万円	5,235万円	93.5%	2,792万円	49.9%
	老人保健事業	1,000万円	373万円	37.3%	357万円	35.7%
	介護保険事業	78億 6,349万円	66億 2,532万円	84.3%	69億 6,850万円	88.6%
	農業集落排水事業	28億 4,340万円	17億 7,338万円	62.4%	18億 1,466万円	63.8%
	公共下水道事業	15億 6,502万円	12億 3,573万円	79.0%	11億 6,275万円	74.3%
	浄化槽事業	4,032万円	1,816万円	45.0%	2,459万円	61.0%
	サービスエリア事業	2,805万円	2,742万円	97.8%	1,073万円	38.3%
	市街地再開発事業	1億 8,682万円	7,822万円	41.9%	4,809万円	25.7%
	後期高齢者医療事業	8億 9,410万円	7億 5,701万円	84.7%	7億 5,691万円	84.7%
財産区	島ヶ原財産区	2,953万円	2,811万円	95.2%	660万円	22.3%
	大山田財産区	1,384万円	1,190万円	86.0%	476万円	34.4%
	計	255億 8,756万円	202億 1,714万円	79.0%	202億 9,682万円	79.3%

## ■一般会計 市債の状況

3月31日現在、一般会計で537億6,053万円の借金があります。

費目別では、学校建設などのために借りた教育債が121億4,242万円で全体の22.6%を占めています。



## ■特別会計 市債の状況

特別会計の借入金残高は208億3,228万円となっています。

会計名	H22.3.31 末残高	内 訳	
		借入先	H22.3.31 末残高
国民健康保険事業 (直営診療所)	3,034万円	財務省	2,484万円
		銀行・共済組合など	550万円
簡易水道事業	38億 5,726万円	財務省	28億 4,707万円
		地方公営企業金融機構	9億 7,086万円
住宅新築資金等貸付	3億 269万円	銀行・共済組合など	3,933万円
		日本郵政公社	3億 269万円
農業集落排水事業	84億 977万円	財務省	50億 6,421万円
		日本郵政公社	1,823万円
		地方公営企業金融機構	32億 5,454万円
		銀行・共済組合など	7,279万円
公共下水道事業	78億 4,612万円	財務省	46億 6,427万円
		日本郵政公社	1,969万円
		地方公営企業金融機構	31億 5,041万円
浄化槽事業	9,380万円	銀行・共済組合など	1,175万円
		財務省	9,380万円
市街地再開発事業	2億 9,230万円	銀行・共済組合など	2億 9,230万円
計	208億 3,228万円	計	208億 3,228万円

## ■一時借入金

一時借入金とは、支払いのための現金不足を補うために借り入れる資金で、同じ会計年度中に返済されるお金です。3月31日現在で一時借入金は次のとおりです。

農業集落排水事業特別会計 5億円

## ■問い合わせ

財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694

## ■基金

基金とは、会計に例えると貯金のようなものです。3月31日現在、基金の総額は126億526万円で、そのうち土地は、15,375.71㎡です。

主なものは次のとおりです。

財政調整基金	28億 1,098万円
伊賀市振興基金	20億 4,285万円
川上ダム周辺整備事業基金	12億 7,971万円
芭蕉翁顕彰事業基金	7億 2,626万円